

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしがいしやげきだんかぜのこちゅうぶ		
	制作団体名	株式会社劇団風の子中部		
	代表者職・氏名	代表取締役・西川典之		団体ウェブサイトURL
				https://kazenokotyubu.com
	制作団体所在地	〒	500-8241	最寄駅(バス停)
		岐阜市領下21番地16		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	げきだんかぜのこちゅうぶ		
	公演団体名	劇団風の子中部		
	代表者職・氏名	代表・榎田大介		団体ウェブサイトURL
				https://kazenokotyubu.com
	公演団体所在地	〒	500-8241	最寄駅(バス停)
		岐阜市領下21番地16		
	制作団体 設立年月	2010年4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役 西川典之 代表役員 榎田大介 創造部長 大熊勝利 制作部長 榎田真理子 事務局長 田島千穂	【創造部】大熊勝利、榎田大介、井野口祥平、川尻晴菜、坂田如、橋本弥侑、内田菜月、西島航平、福田来樹、小川卯美 【制作部】榎田真理子、田島千穂、西川典之、阪井大輝、松田琢也 加入条件:18歳以上	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	田島千穂
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	阪井大輝
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:kazenokotoukai@mtj.biglobe.ne.jp">kazenokotoukai@mtj.biglobe.ne.jp</a>		0582157780

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	1950年、劇団風の子が東京下北沢で創立。 1987年、劇団風の子の地方事務所として愛知県一宮市に東海事務所を開設。 1992年、事務所を岐阜市に移転し、2009年まで普及を中心とした活動を展開。 2010年4月、劇団風の子から運営独立し「劇団風の子中部」を岐阜市に設立。 2018年4月、株式会社劇団風の子中部として法人独立し、現在に至る。 <b>【主な受賞歴】</b> 「ぱらりっとせ」 平成29年(2017年)厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財 「ギャング・エイジ」 令和4年度(2022年)厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財 令和5年度(2023年)児童福祉文化賞 「ユエと瑠璃色の石」 令和4年度(2022年)厚生労働省社会保障審議会推薦・児童福祉文化財 「白髪のニール〜Roll Roll Rolling〜」令和7年度(2025年)こども家庭庁こども家庭審議会推薦児童福祉文化財	
	学校等における公演実績	2010年劇団風の子中部創立より、16年間学校公演はコロナ禍の3年間を除き、100日以上の実績があります。 <b>【2021年度】</b> 「ユエと瑠璃色の石」 33日48ステージ 「ギャング・エイジ」 84日131ステージ 「ぱらりっとせ」 48日75ステージ <b>【2022年度】</b> 「ユエと瑠璃色の石」 79日144ステージ 「ギャング・エイジ」 90日132ステージ 「ぱらりっとせ」 42日59ステージ <b>【2023年度】</b> 「ユエと瑠璃色の石」 75日102ステージ 「ギャングエイジ」 97日121ステージ 「ぱらりっとせ」 52日58ステージ <b>【2024年度】</b> 「ユエと瑠璃色の石」 95日113ステージ 「ギャングエイジ」 94日114ステージ 「ぱらりっとせ」 40日41ステージ <b>【2025年度】(2025年9月段階で)</b> 「ユエと瑠璃色の石」 64日80ステージ 「ギャングエイジ」 90日105ステージ 「ぱらりっとせ」 60日65ステージ	
	特別支援学校等における公演実績	<b>【静岡県】</b> 静岡南部特別支援学校 静岡中央特別支援学校 袋井特別支援学校 <b>【愛知県】</b> 岡崎市みあい特別支援学校 岡崎市第2青い鳥学園 豊明特別支援学校 半田市特別支援学校 <b>【岡山県】</b> 岡山県健康の森学園特別支援学校 <b>【富山県】</b> 富山県高志支援学校 <b>【岐阜県】</b> 岐阜県立関特別支援学校  ほか公演実績あり	






参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/aOAmhJrJvQ8	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団風の子中部 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	私の光をめざして！劇団風の子中部「ユエと瑠璃色の石」公演			
企画のねらい	【自己形成力や生きる力を培う】 コロナ禍の3年間、「3密」という言葉で安心・安全を守る一方で、自己形成や生きる力を培うためにはやはり直接体験が重要であることも改めて見直されたのではないのでしょうか。昨今のデジタルの低年齢化に対しても、子ども時代の体験がより重要になっていると考えます。この劇の主人公ユエは、外の世界から遮断された塔から飛び出し、まさに直接体験をしながら成長していきます。異なる価値観の他者と出会い、生命と触れ合い、自分の中に閉じ込めていた感情を呼び覚ましていく物語です。 またファンタジーを通し、物語という世界で子どもたちの想像力・空想力で旅をしてほしいことを願っています。さらに、児童が劇に参加することで、演じる楽しさ、表現する楽しさを体験してもらいたいです。児童が演じることで、観ている児童もより舞台に親近感が得られ、さらに想像力を膨らませる力となっていきます。この体験を通し、豊かな感受性、他者を思いやる心、好奇心を培ってほしい、そして、児童自身が未来を思い描く力を醸成していきたいと願います。			
演目概要・演目選択理由	【あらすじ】 昔々、山あいの小さな城にユエという少女がいた。城に使える乳母は、両親を亡くしたユエを大事にするあまり、外の世界から遮断された塔でユエを育てる。気持ちを上手く出せないまま成長したユエは、母の子守唄をそっと歌うことだけが慰めだった。10歳になったユエは塔から見える瑠璃色の光に気がつく。それはユエしか見えない不思議な光だった。ある日、大国の王子ヤンが、永遠の命を宿す「瑠璃の石」を求め侵略してきた。塔で出会ったネズミのチャチャと共にユエは城から逃げ出す。たどり着いた緑深い谷で少年ハオやじい様と出会い、命を頂き生きる暮らしを知っていく。生物の命に触れ、自然に触れ、自分の感情に気がついていく。ある晩、子守唄を歌っていたユエに、じい様はその子守唄は「瑠璃の石」を目覚めさせる歌で、ユエが見た光は「瑠璃の石」の光だと告げる。その石を狙う王子ヤン。ハオと共に谷の危機を救うため、ユエは「瑠璃の石」を目覚めさせようと走り出す。 【演目選択理由】 観客の想像を広げる白を基調とした切り絵調の舞台装置。生命力を感じさせる演者の身体表現。人間の身体を存分に生かした生き物たちの表現や声。また、城では寂しさを紛らわすために歌っていた母から聞いた子守唄が、谷の仲間たちと出会い「瑠璃色の石」が紡ぐ命のめぐりの中で希望の光へと変わっていくことなど、主人公ユエの体験が、子どもたちの自己形成や生きたいという「生」への希望に繋がると考えます。			
児童・生徒の参加または体験の形態	【谷のネズミたちのシーン】 チャチャに呼ばれて集まってくる谷のネズミになりきって、舞台上で囁みつく芝居ややられる芝居、集団でフォーメーションを組んで、楽しくダイナミックなシーンを創っていきます。 【エンディングシーン】 出演者とともに舞台上、または舞台から客席を取り囲むようにして、簡単な振り付けに合わせてテーマソングを歌います。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	5～60名程度
			鑑賞人数目安	350名
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「ユエと瑠璃色の石」  作: せきゆみ 演出: 河野真理子 音楽: 曲尾友克 美術: 小峯三奈 振付: 熊谷佳代 衣装: 田島千穂 制作: 西川典之			
	公演時間	75	分	
出演者	大熊勝利 川尻晴菜 橋本弥佑 西島航平 小川美卯			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	◇脚本／せきゆみ:1979年岐阜生まれ。民主主義文学新人賞受賞。児童青少年演劇のための劇作家養成講座2024年度脚本賞(第2回)「りゅうりょんれん」受賞。 ◇演出／河野真理子:1977年生まれ。2000年劇団風の子入団。「のら」「ガヤガヤとムツリ」「おさな星のうたたね」等に俳優として出演。2010年劇団風の子中部発足とともに移籍。以来、創造責任者として劇団の中核を担う。これまでの演出作品「たっだいまーのいってきまーす」「ユエと瑠璃色の石」等。文化庁芸術家派遣事業講師としての実績有。 ◇出演／大熊勝利:1979年生まれ。2000年劇団風の子入団。「のら」「ちいさい劇場」「ナギを探して」等に出演。2010年劇団風の子中部発足とともに移籍。以来、創造の中心として多くの作品に携わる。文化庁芸術家派遣事業講師としての実績有。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	5	名	運搬  積載量: 1 t 車 長: 6.99 m 台 数: 1 台
	スタッフ:	1	名	
	合 計:	6	名	

<b>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安</b>	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	7:00	7:00～10:30		13:30～14:45	無	15:00～16:30	16:50	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
<b>本公演 実施可能日数 目安</b>  <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月		8月		9月	
	10日		0日		0日		5日	
	10月		11月		12月		1月	
	5日		5日		4日		0日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		29日	
<b>公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)</b>   <small>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し</small>	 <p>← 白を基調とした舞台</p> <p>“中阮”（ちゅうげん）と いう中国に古くから伝わ る弦楽器の生演奏に合わ せ、出演者たちが生の歌 声を響かせます。</p> <p>↓</p>   <p>身体表現による 自然界の形象</p>  							
	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名			
	著作権、上演権等の許諾状況	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況		
	<small>※A4判3枚以内に収まるように作成してください。</small>							

別添

なし

【公演団体名

劇団風の子中部

】

ワークショップの内容

## ワークショップのねらい

舞台で表現することを楽しむために、出演する子どもたちが、演じることが「怖い」とならないよう、ここは正解不正解が無い場所だ、仲間と表現することは楽しいと感じられるワークショップにしたいと考えます。また、遊びながらその者になりきっていく流れで、感覚を刺激し、主体的に「どうやったらより面白い表現になるだろう」という表現欲求に繋げ、「演じることが遊ぶことに似ている」と感じたり、「ぼくは、私は今生きている！」という「生」への希望に繋げたいと考えています。さらに、仲間との話し合いの中で、互いの考え、感情、価値観などを伝えあい、より良い社会を作るための発想を刺激していきたいと思います。

## 児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

5～60人

## ワークショップ実施形態及び内容

【事前ワークショップ】90分  
 ①あいさつ 自己紹介、ワークショップの目的、注意事項等を児童に説明。(5分)  
 ②心と身体の解放を目的とした「遊び」のワークショップ。(15分)  
 ・手遊び  
 ・ジャンケン遊びから表現へ  
 ・円になって、忍者ごっこ(仲間と協力して宝を取りに行く。静かな動き。)  
 ・円になって、なりきりガンマンごっこ(まるで荒野のガンマンのように決闘シーン。アイコンタクト、呼吸。)  
 ・集団なりきりあてっこゲーム。(子どもたちがある季節を表現する。ひとりでも仲間と表現してもOK。劇団員が何の季節か当てる。)  
 等、いくつか選択して行う。  
 ③本公演に向けて(70分※途中休憩入れる。)  
 ・出演シーンの説明。  
 ・実際出演するシーンの練習。(人数が多ければ、グループごとに分かれて別の場所で行う。)  
 ・エンディングの歌の後に子どもたち自身で考える台詞「どんな地球であってほしいか」について話し合い。  
 ・最後に、ネズミのシーンと、エンディングの歌と踊りに合わせたものを発表。

【本番当日まで】  
 出演シーンの練習、覚えた歌と振付の練習。

【当日リハーサル】(45分)  
 実際に出演する児童と演者と、本物の舞台でリハーサル。

## その他ワークショップに関する特記事項等

当日の出演児童は30名程度が妥当ですが、人数が多い場合、2シーン分かれて参加する、または本舞台に上がる児童と舞台脇で歌う児童と分かれて行う等、学校の規模に合わせた出演形態で対応可能です。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団風の子中部 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。			
	会場の設置階の制限	2F以上応相談		主幹引き込み電源容量	
	舞台設置面積	間口	12.6 m	奥行	9 m
		高さ	7 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	1.8 m
	遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		不要
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	
	搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台
	搬入車両の大きさ	車幅	2 m	車長	7 m
	備考	遮光に関しては3割程度でも対応可能です。 搬入車両はマイクロバスになります。(上記記載の中型トラック相当の大きさになります)			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。			
	会場図面の提出要否	不要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	通常の学校体育館であれば不要ですが、近隣の会館(ホール)等の場合は 舞台図面、搬入経路などの確認が必要です。			



時間 外 対 応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演					
	本公演					

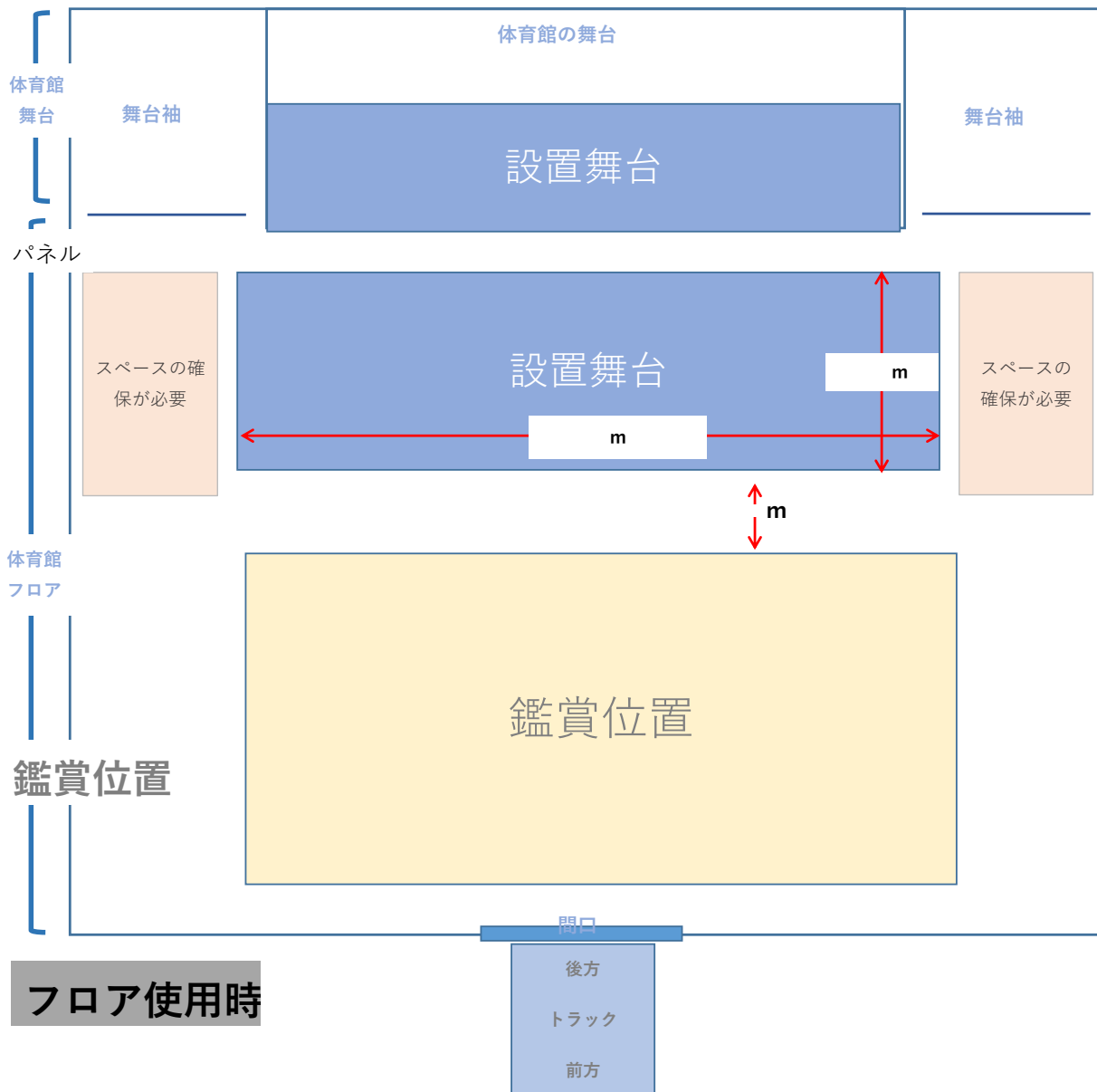
個別 確認 事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
	3	

(任意)

会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面





別添

なし

【公演団体名

劇団風の子中部

】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

日本中の児童青少年が、地域格差や各家庭の経済格差等で差別されることなく、平等に文化芸術の機会を得ることの出来る芸術鑑賞教室は世界的に見て稀有な存在です。しかし近年、少子化の加速、貧困家庭の増加による観劇料の徴収不可等で、学校単独での鑑賞機会が激減しています。そこに感染症や熱中症対策による行事見直しが加わり、いまや芸術鑑賞行事そのものの開催が難しい状況にあると実感しています。

本事業は、このような状況を打ち破る大きな力になると確信します。**文化芸術、演劇は生きる力**です。当劇団も、子どもたちの発想力、想像力、コミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的として、本事業に取り組みたいと考えます。**本事業の推進力は子どもたちを取り巻く状況を変革していく力になるものと確信**しています。

◇文化芸術を鑑賞することは娯楽的な要素を持つものではなく、**子どもの成長発達に欠かせない体験**であることを広く普及し、芸術鑑賞能力の向上を図りたい。

◇インターネット等が子どもの成長発達に及ぼす影響を考えた時、目の前で繰り広げられる**生の舞台芸術に触れる機会を持つことの重要な意味**を、学校、地域の方たちと共に考え、芸術鑑賞の意味を深めていきたい。

◇本物の舞台芸術に触れることによって、**子どもの自己表現能力を養成**し、次なる芸術家や多くの鑑賞者を育てる礎になるような機会として創っていきたい。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

◇開催校との打合せ時に、**児童・生徒を取り巻く現状、日常の様子、先生方の思い**等を出来る限り汲み取り、子どもたちの成長発達に即したワークショップ、舞台表現を目指す。

◇2022年度より取り組んでいる児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)主催の「旅する学校 in 岐阜コミュニケーション教育の現場へ行くために」で学んだスキルを生かし、児童・生徒への具体的なアプローチの創意工夫に努める。

◇芸術鑑賞教室の普及時に、単独開催が困難な学校に対し、本事業の紹介、資料等の提供を積極的に行い、事業の推進を図る。

◇劇団のホームページ、SNS等を活用し、本事業活動時の様子や先生、子どもたちの感想等を(承諾を得て、十分配慮した上で)積極的に発信する。

◇開催校からの情報発信(学校ホームページやPTA広報)、地元新聞社、ケーブルテレビなどの取材申し入れには積極的に協力する。

【学校との連絡調整について】

①採択校には迅速に対応し、次年度の学校行事のスケジュール調整に間に合うよう、ワークショップ、本公演の日程を調整し、スムーズな学校運営ができるよう配慮します。

②令和8年度4月には新担当教諭に迅速に連絡をし、これまでの経緯とこれからの進め方の再確認を行います。

③電話での確認だけでなく、FAXやメールでの書面上のやりとりを合わせて行い、情報共有の徹底に努めます。

④ワークショップ資料を各校に郵送し、事前に指導イメージを共有しやすいようにします。

⑤事前のワークショップ時に会場下見を兼ねた打ち合わせを担当教諭と行い、本公演をスムーズに進行できるよう、また緊急時の対応についての確認も徹底します。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ  
円滑に実施するための  
工夫

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

- 子どもたちが、緊張感で表現できなくなるような事にならないよう、具体的に子どもたちの心と体を解放できるようなワークショップを考えています。これまでの実績として、2000年より、多くの学校で学芸会の指導をしてきたスキルを生かして臨みたいと思います。また、けっして苦手意識のある子へ無理強いはいしません。
- 子どもたちへの言葉がけは否定的な表現は使わない。肯定的な言葉がけに徹してワークショップ・本公演の環境を子どもたちが安心して自己表現できるように配慮します。
- 大きな音や大人数の空間が苦手等の配慮が必要な児童・生徒に対しては、別室でのリモート鑑賞などの対応をします。
- 公演当日は、リハーサル、本公演以外の場面でも、子どもたちとのコミュニケーションが図れるよう、体育館は開放的な空間にし(もちろん安全に考慮し)、本番への昂揚感を高めます。
- リハーサルは短い時間の中で、集中力と適度な緊張感を促し、かつ表現すること、舞台に立つことの楽しさを追求しながら、本番に向かっていきます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

- 心と身体を解放を目的とした“あそび”のワークショップの体験、そして本公演の登場人物達が反発、共感、妥協しながらも自己決定したことを表現していく姿を、鑑賞した児童・生徒たちが、日常の学校生活の中での他者とのコミュニケーション力や自己表現力を養う一助になればと思います。